

第 65 回全日本総合男子ソフトボール選手権大会  
中国地区予選会

日時：2019 年 7 月 12 日（日）

会場：鳥取県 米子市淀江球場（A 球場）

▼代表戦 10:00～

Rush 朝日 3 0 0 0 1 0 1 0 0 4 9

環太平洋大学 0 0 0 1 2 1 1 0 0 0 5

R：小熊坂 — 山下

環：萩原(7 回)井上(3 回) — 長谷川

本塁打：大城、吉永(以上環)

三塁打：小原(環)

二塁打：小原(環) 栃裏(R)

戦評

初回 3 連打で 1 点を失い四球を挟み無死満塁のピンチ、セカンドゴロからホームホースプレーで 1 死、続く打者もセカンドゴロでホームホースプレーからの一塁への送球が悪送球となり 0-2。続く盗塁の挟殺プレーの間にホームへの送球が逸れて初回 3 失点と痛い立ち上がり。3 点を追いかける 4 回裏、2 番島尻がレフト前ヒットと盗塁、3 番吉永四球、4 番小原がレフト前で無死満塁のチャンス。5 番谷口(美)がセンターへの犠飛で 1 点を返したが後続が倒れ 1-3。5 回表に 2 本のヒットと犠飛により 1-4 とリードを広げられる苦しい展開。5 回裏に 1 死から 9 番代打谷口(雅)が四球で出塁、2 死となって 2 番島尻センター前で繋ぎ、3 番吉永も初球をセンター前に弾き返し 2-4。続く 4 番小原が 1-1 から左中間を破るタイムリーツーベースで 3-4。6 回裏には 8 番大城が左中間スタンドに同点ホームランで 4-4 に遂に追いつく。7 回表に、この回先頭の 1 番にツーベースを許し 1 死 3 塁からセンター前にタイムリーを許して 4-5。絶体絶命の最終回の攻撃、1 死から 3 番吉永がレフトスタンドへ同点となるソロホームランで試合は振り出しに。タイブレークに入り先発の萩原から井上にスイッチ。8 回を三者凡退に抑え、8 回裏は送りバントの後、故意四球等で満塁と攻めたが無得点。続く 9 回も 2 死 1.3 塁とサヨナラのチャンスだったが後続を絶たれ 10 回へ。この回の先頭打者にヒットで無死 1.3 塁、討ち取った内野ゴロが失策となり 1 失点、2 死となったがワイルドピッチとパスボールとバッテリーミスが続けて出てしまい、次打者には押し出しで 5-9 と万事休す。終盤攻めていただけに、序盤から続いた守備の乱れにより要所でミスが出て 3 時間を戦いましたが、痛い敗戦となり第 3 代表決定戦に回る。

▼第3代表戦 13:40～

宇部興産 SBC 000000 0

環太平洋大学 114001× 7(規定により6回コールド)

宇：梅崎 — 木寺

環：萩原(3回)井上(3回) — 長谷川(3回)宮平(3回)

本塁打：吉永、長谷川(以上環)

二塁打：小原(環)

戦評

第3代表決定戦、1回裏2死から3番吉永が四球と盗塁、4番小原がレフト前にタイムリーヒットで1点を先制。2回裏には、6番轉法輪、7番長谷川連続ヒットから9番代打谷口(雅)のレフトフライ犠飛で2-0。

3回には1死から3番吉永がセンターバックスクリーンへソロホームラン、続く4番小原がセンターオーバーのツーベースヒット、内野ゴロの間に進塁し2死2塁、6番轉法輪が四球を選び2死1.3塁から7番長谷川がレフトスタンドへスリーランホームランを叩き込み6-0とリードを広げた。

6回裏には7番代打宮平が四球で出塁、8番代打三澤もレフト前ヒットでチャンスを広げ、無死1.2塁から9番玉城がライト前にタイムリーヒットで宮平が生還し7-0のコールドで勝利した。守っては先発の萩原が3回を完璧に抑え1人のランナーも許さず井上に継投し後続を抑えて完封した。これで6年連続の全国大会の出場権を獲得した。

今年は岡山県新見市(9/14～9/16)にて開催されます。